

本ユーザー・マニュアルでは、Swagelok® ファイブ・ロール・ストレートナー（モデル：MS-TST12）の正しい操作方法について記載しています。ファイブ・ロール・ストレートナーをご使用になる前に、このマニュアルをよくお読みください。

概要

ファイブ・ロール・ストレートナーはチューブの矯正を行うためのツールで、手動による操作と、スプール・スタンドに取り付けて行う自動操作のいずれにも対応します。ファイブ・ロール・ストレートナー・キットの特徴は、以下のとおりです。

- 裸管およびシングル・ジャケット・チューブに対応
- 対応するチューブ外径サイズ：
1/8 ～ 1/2 インチ、3 ～ 12 mm
- 質量：約 7.4 kg
- キット内容：ファイブ・ロール・ストレートナー・ツール、頑丈なプラスチック製保管運送用ケース



操作方法

本ユーザー・マニュアルでは、ファイブ・ロール・ストレートナーの手動による操作について記載しています。

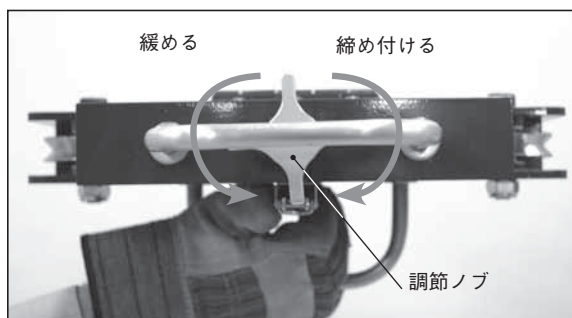
1. コイルの先端を手で真っすぐにします。



2. 調節ノブをまわして（外径サイズが小さいチューブの場合：時計回り、外径サイズが大きいチューブの場合：反時計回り）、ローラーの高さを調節します。チューブをストレートナー本体に通します。

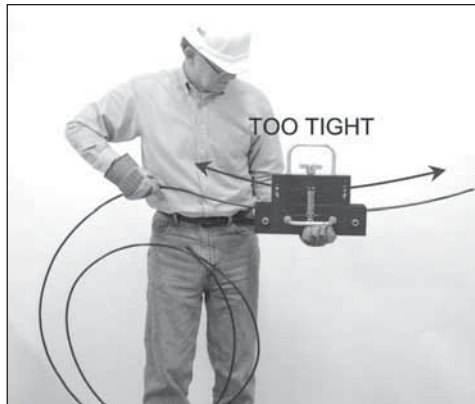


3. チューブが真っすぐな状態で出て行くように、チューブをストレートナーに通した状態で前後に動かし、調節ノブでローラーの高さを調節します。

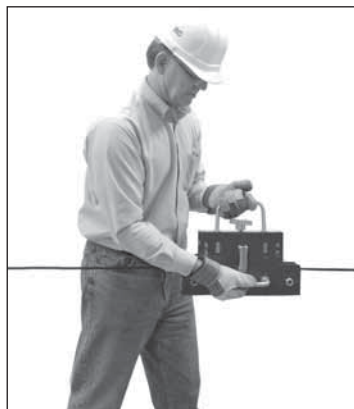


平面図

4. チューブが上方にカーブする場合は、調節ノブを緩めます。
 チューブが下方にカーブしたままの場合は、調節ノブを締め付けます。



5. 1回目の矯正後、さらに矯正が必要な場合があります。
 その場合は、ストレートナーを時計でいう3時／6時／9時の位置にまわして、チューブが真っすぐになるようにチューブ全体の矯正を行います。

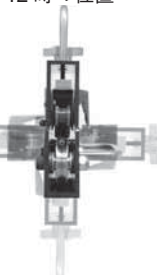


1回目の矯正（12時の位置）

1回目の矯正
12時の位置

4回目の矯正
9時の位置

2回目の矯正
3時の位置



3回目の矯正
6時の位置



4回目の矯正（9時の位置）